

6

カスタム・リカバリ CD の使い方

本製品には、カスタム・リカバリ CD が同梱されています。
本章では、カスタム・リカバリ CD の使い方について説明します。

- 1** カスタム・リカバリ CD とは 140
- 2** 標準システムを復元する 141
- 3** 最小構成でシステムを復元する 143
- 4** アプリケーションを再インストールする 146

1 カスタム・リカバリ CD とは

本製品には次のカスタム・リカバリ CD が同梱されています。

Product Recovery CD-ROM

アプリケーション&ドライバ CD-ROM

カスタム・リカバリ CD は、何らかの障害によってハードディスクが壊れてしまった場合やシステムが正常に動作しなくなってしまった場合にシステムを復元したり、一度削除してしまったアプリケーションを再インストールする場合に使用します。

標準システムを復元する

ご購入時の状態に戻します。プレインストールされているアプリケーションもすべて復元されます。

☞ 「本章 2 標準システムを復元する」

最小構成でシステムを復元する

Windows のみを復元します。デバイスドライバやアプリケーションなどはインストールされません。

☞ 「本章 3 最小構成でシステムを復元する」

アプリケーションやドライバごとに再インストールする

プレインストールされているアプリケーションを再インストールできます。

☞ 「本章 4 アプリケーションを再インストールする」



メモ

・カスタム・リカバリ CD は絶対なくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することはできません。

2 標準システムを復元する

本製品にあらかじめインストールされている Windows やアプリケーションを復元し、ご購入時の状態に戻します。

1 準備

次のものを使用します。

Product Recovery CD-ROM

取扱説明書（本書）

外付け CD-ROM ドライブ

（型番：PA2671UJ、IPC5013A または PA2673UJ）

またはマルチメディアポートリプリケータの CD-ROM ドライブ



メモ

・オプションの CD-ROM ドライブ PA2673UJ をお使いの場合は、PC カード側面のモード切替スイッチを [16Bit] 側に設定してください。

「標準システムインストール起動ディスク」を使用すると、使用できる CD-ROM ドライブの種類が増えます。

⇒ 詳細について ⇨ 《オンラインマニュアル》

⇒ オンラインマニュアルの起動 ⇨ 「2 章 4 オンラインマニュアルの起動」

2 操作手順



注意

・復元する前にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。ハードウェア構成を変更している場合は、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。

1 パソコンの電源を切る

2 パソコンをご購入時の状態に戻す

増設したハードディスクドライブや周辺機器などは取りはずしてください。

3 パソコンにCD-ROMドライブを接続する

PCカードタイプのCD-ROMドライブを使う場合

パソコンのPCカードスロットにCD-ROMドライブのPCカードを接続します。

標準システムインストール起動ディスクを使用すると、使用できるPCカードタイプのCD-ROMドライブの種類が増えます。

☞ 詳細について ☞ 《オンラインマニュアル》

マルチメディアポートリプリケータのCD-ROMドライブを使う場合
拡張コネクタにマルチメディアポートリプリケータを接続します。

4 「Product Recovery CD-ROM Disk 1」を外付けCD-ROMドライブにセットする

5 キーボードの[C]キーを押しながら、パソコンの電源を入れる 「復元する構成を選択してください」のメッセージが表示されます。

6 [1]キーを押す

「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」のメッセージが表示されます。

7 [Y]キーを押す

処理を中止する場合は、[N]キーを押してください。
復元を開始します。

8 CDを入れ替えるメッセージが表示された場合、CDを入れ替えて[Enter]キーを押す

処理が続きます。画面の指示に従ってください。
復元が完了すると、終了画面が表示されます。

9 CDを取り出し、パソコンからCD-ROMドライブやマルチメディアポートリプリケータなどの周辺機器をすべて取りはずしてから、何かキーを押す

システムが再起動します。

10 Windowsのセットアップを行う

☞ Windowsのセットアップについて

☞ 「2章 2 初めて電源を入れるとき」

Windows のみを復元することができます。最小構成でシステムを復元しますので、ご購入時にプレインストールされていたデバイスドライバやアプリケーションなどはインストールされません。Windows のセットアップ終了後、本製品に同梱されている「アプリケーション & ドライバ CD-ROM」から、必要なデバイスドライバおよびアプリケーションをインストールしてください。



メモ

- ・最小構成で復元した場合は、デバイスドライバやアプリケーションはインストールされません。本製品の機能をすべてご利用になるには、アプリケーション & ドライバ CD-ROM からデバイスドライバなどをインストールする必要がありますので、通常は標準システムを復元することをおすすめします。
- ・最小構成で復元した場合は、Windows のセットアップ画面が、パソコンのご購入後初めて電源を入れるとき、または標準システムの復元時と異なります。また、Windows のセットアップに時間がかかります。途中、作業画面が止まったように見えるときがありますが、間違って電源を切ったりしないでください。

1 準備

次のものを使用します。

Product Recovery CD-ROM

取扱説明書（本書）

外付け CD-ROM ドライブ（型番：PA2671UJ、IPC5013A または PA2673UJ）

またはマルチメディアポートリプリケータの CD-ROM ドライブ



メモ

- ・オプションの CD-ROM ドライブ PA2673UJ をお使いの場合は、PC カード側面のモード切替スイッチを [16Bit] 側に設定してください。
「標準システムインストール起動ディスク」を使用すると、使用できる CD-ROM ドライブの種類が増えます。
☞ 詳細について ☞ 《オンラインマニュアル》
- ・ネットワークを介して接続された CD-ROM ドライブは使用できません。
- ・最小構成でシステムを復元する場合でも、標準システムを復元する場合と同じディスク使用量（ご購入時のディスク使用量）が必要です。

また、Windows セットアップ時に プロダクトキー Product Key の入力が必要です。Product Key はパソコン本体に貼られているラベルに印刷されています。あらかじめ紙などに書き写しておいてください。

② 操作手順



注意

・復元する前にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。ハードウェア構成を変更している場合は、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。

- 1 パソコンの電源を切る
- 2 パソコンをご購入時の状態に戻す
増設したハードディスクドライブや周辺機器などは取りはずしてください。
- 3 パソコンにCD-ROMドライブを接続する
PCカードタイプのCD-ROMドライブを使う場合
パソコンのPCカードスロットにCD-ROMドライブのPCカードを接続します。
マルチメディアポートリプリケータのCD-ROMドライブを使う場合
拡張コネクタにマルチメディアポートリプリケータを接続します。
- 4 「Product Recovery CD-ROM Disk1」をセットする
- 5 キーボードの[C]キーを押しながら、パソコンの電源を入れる
「復元する構成を選択してください」のメッセージが表示されます。
- 6 [2]キーを押す
「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」のメッセージが表示されます。
- 7 [Y]キーを押す
処理を中止する場合は、[N]キーを押してください。
復元を開始します。
- 8 CDを入れ替えるメッセージが表示された場合、CDを入れ替えて[Enter]キーを押す
処理が続きます。画面の指示に従ってください。
復元が完了すると、終了画面が表示されます。

- 9 CDを取り出し、パソコンからCD-ROMドライブやマルチメディアポートリプリケータなどの周辺機器をすべて取りはずしてから、何かキーを押す
システムが再起動します。

- 10 Windows のセットアップを行う

再インストールされているアプリケーションやドライバを一度削除してしまっても、システムの復元を行うことなく、アプリケーションごとに再インストールすることができます。

再インストールには「アプリケーション&ドライバCD-ROM」を使用します。

1 パソコンにCD-ROMドライブを接続する

PCカードタイプのCD-ROMドライブを使う場合

パソコンのPCカードスロットにCD-ROMドライブのPCカードを接続します。

マルチメディアポートリプリケータのCD-ROMドライブを使う場合

拡張コネクタにマルチメディアポートリプリケータを接続します。

2 「アプリケーション&ドライバCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットする

「アプリケーション&ドライバCD-ROM」は複数枚入っている場合があります。

3 表示されるメッセージに従ってインストールを行う

[ファイルのダウンロード]画面が表示された場合は、[このプログラムを上記の場所から実行する]を選択し、[OK]ボタンをクリックしてください。



メモ

・すでにインストールされているアプリケーションを再インストールするときは、コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」または各アプリケーションのアンインストールプログラムを実行して、アンインストールを行なってください。

アンインストールを行わずに再インストールを実行すると、正常にインストールできない場合があります。ただし、上記のどちらの方法でもアンインストールが実行できないアプリケーションは、上書きでインストールしても問題ありません。

7

困ったときは

本章では、困ったときの対処方法を説明します。
操作中、うまく動作しないときにお読みください。

1 困ったときは	148
-----------------------	-----



1 困ったときは

パソコン本体を使ってうまく操作できないとき、動作がおかしいと感じたときの解決法をご紹介します。オンラインマニュアルをご覧になれる状態のときは、《オンラインマニュアル 困ったときは》もご覧ください。

1 Q & A を見る前に

設定の確認によく使う、[コントロールパネル]の開き方を説明します。

● 方法 1 - [スタート]メニューから開く

1 [スタート] ボタンをクリックする

2 [設定] にマウスポインタを合わせる

3 [コントロールパネル] をクリックする

[コントロールパネル] 画面に目的のアイコンが表示されていない場合は、画面左の [すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。] をクリックしてください。

● 方法 2 - [マイコンピュータ] から開く

1 デスクトップの [マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックする

2 [コントロールパネル] アイコンをダブルクリックする

[コントロールパネル] 画面に目的のアイコンが表示されていない場合は、画面左の [すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。] をクリックしてください。

② Q & A 集

● 電源を入れるとき / 切るとき...

- 電源が入らない / システムが起動しない 151
- 自動的にプログラムが実行される 152
- 電源が切れる 153
- 電源が切れない 154
- 電源が入ってしまう 154

● 表示・画面について

- 画面に何も表示されない 155
- 画面が見にくい 156
- タスクバー / ウィンドウの表示 158
- ファイルが見つからない 159

● アプリケーションについて

- アプリケーションが使えない 159

● 印刷について

- 印刷ができない 161

● キーボード・マウス・アキュポイント について

- 思うように文字が入力できない 163
- マウス / キーボードが使えない 166

● 周辺機器についてのトラブル

- フロッピーディスクについて 168
- CD について 170
- PC カードについて 171
- USB 機器について 172
- i.LINK (IEEE1394) 機器について 173
- 赤外線通信について 173

● モデム機能 / インターネット / メールについて

- 回線が繋がらない / 切断される 174
- その他 184

● 音量について

- スピーカから音が聞こえない 186
- おかしい音が聞こえる 188

● 調子がおかしい！

- テレビ、ラジオに障害が出る 189
- 休止状態にならない 189
- パソコンの動作がおかしい 190
- その他調子がおかしい 192

● 不明なメッセージが出た！

- 192

● 異常や故障の場合

- 194

● 東芝 PC サービス・サポートのご案内

- 195

● 電源を入れるとき / 切るとき...

● 電源が入らない / システムが起動しない



パソコンの電源が入らない



電源スイッチがロックされている

電源スイッチロックを左側にしてロックを解除し、再度電源スイッチを押してください。



電源スイッチを押す時間が短い

電源スイッチをしばらく押し続けてください。



一度電源が入りかけるが、すぐに切れる

(Main Battery LED がオレンジ色に点滅している場合)



バッテリーの充電量が少ない

本製品用の AC アダプタを接続する
他機種用の AC アダプタは使用できません。
充電済みのバッテリーパックを取り付ける



一度電源が入りかけるが、すぐに切れる

(DC IN LED がオレンジ色に点滅している場合)



電源の接触が悪い

AC アダプタを抜き差ししてみる
バッテリーパックを抜き差ししてみる
リセットスイッチを押す
先の細い、丈夫なもの (例えばクリップを伸ばしたものなど) で押してください。



危険防止機能が働いた

パソコンを移動するなど、パソコンの内部温度が下がるのを待つ

パソコン内部温度の上昇が一定以上に達すると、危険防止機能が働き、システムが自動停止します。使用できる環境温度は 5 ~ 35 です。

以上の手順でも解決できない場合は、お近くの保守サービスにご連絡ください。

 電源を入れたが、システムが起動しない

 システムが入っていないフロッピーディスクが挿入されているフロッピーディスクを取り出してから、パソコンを再起動してください。

 Windows 起動時に、自動的にスキャンディスクが始まる

 前回使用したときに、Windows の終了手順に従わずに電源を切った
スキャンディスク後、ハードディスクに異常がなければ、Windows が起動します。
正常に起動しなかった場合は、画面の指示に従って操作を行なってください。

自動的にプログラムが実行される

 Windows の起動と同時にプログラムが実行される

 「スタートアップ」にプログラムが登録されている次の手順で設定を変更してください。

[スタート]-[設定]-[タスクバーと[スタート]メニュー]をクリックする

[詳細設定] タブで [削除] ボタンをクリックする

[ショートカットやフォルダの削除] 画面が表示されます。

[スタートアップ] をダブルクリックする

[スタートアップ] の下にアイコンが表示されます。

削除したいプログラムのアイコンをクリックし、[削除] ボタンをクリックする

[ショートカットやフォルダの削除] 画面で [閉じる] ボタンをクリックする

[タスクバーと[スタート]メニューのプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする

● 電源が切れる

パソコン使用中に電源が切れる

危険防止機能が働いた

パソコンを移動するなど、パソコンの内部温度が下がるのを待つ

パソコンの内部温度の上昇が一定以上に達すると、危険防止機能が働き、システムを自動停止します。使用できる環境温度は5～35℃です。温度の低い場所に移動しても、電源が切れる場合は、お近くの保守サービスにご連絡ください。

バッテリー駆動で使用中、しばらく操作しないと電源が切れる

システム自動オフが設定されている

一定時間パソコンを使用しないときに、自動的にスタンバイ機能または休止状態を実行し、システムの動作をオフにするように設定されています。設定を解除してください。

[コントロールパネル]を開き、[東芝省電力]をダブルクリックする

[電源設定]タブで利用する省電力モードをクリックし、[詳細]ボタンをクリックする

[省電力]タブで[システムスタンバイ]および[システム休止状態]を[なし]に設定し、[OK]ボタンをクリックする

警告音が鳴り、Main Battery LED が消灯した

バッテリーの充電量が少なくなった

ACアダプタを接続する

充電済みのバッテリーパックを取り付ける

● 電源が切れない



電源スイッチを押しても電源が切れず、「ピッピッピッ...」と音が鳴り続ける



電源スイッチを 5 秒以上押す



リセットスイッチを押す



AC アダプタ バッテリパックの順に取りはずし、再度
バッテリパック AC アダプタの順に取り付ける

● 電源が入ってしまう



自動的に電源が入ってしまう



Windows のタスクスケジューラが設定されている
次の手順でタスクスケジューラの設定を確認し、設定されて
いるプログラムを削除してください。

[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[システム
ツール]-[タスク]をクリックする

表示された画面で設定されているプログラムを削除する



パネルスイッチ機能が設定されている

ディスプレイを閉じると電源が切れる、あるいは作業を中断
し、開けると電源が入るように設定されています。

次の手順で設定を解除してください。

[コントロールパネル]を開き、[東芝省電力]をダブル
クリックする

[電源設定]タブで利用する省電力モードをクリックし、[詳
細]ボタンをクリックする

[動作]タブで[コンピュータを閉じたとき]を[何もし
ない]に設定し、[OK]ボタンをクリックする

● 表示・画面について

● 画面に何も表示されない



画面に何も表示されない

(Power LED が点灯していない、またはオレンジ点灯している場合)



電源が入っていない、またはスタンバイ状態になっている電源スイッチを押してください。



画面に何も表示されない

(Power LED が点灯している場合)



表示自動停止機能が働いた

- ・ キーや キーを押す
- ・ マウスやアキュポイント を動かす



メモ

・ CRT ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに 10 秒前後かかることがあります。故障ではありません。



インスタントセキュリティ (表示自動停止) 機能が働いた次の操作を行ってください。

- ・ パスワードを設定していない場合
 キーまたは キーを押す
- ・ パスワードを設定している場合
パスワードを入力し、 キーを押す



メモ

・ パスワードを忘れた場合は、お使いの機種をご確認後、お近くの保守サービスにご依頼ください。

・ パスワードの解除を保守サービスにご依頼される場合は、有償です。またそのとき、身分証明書 (お客様ご自身を確認できる物) の提示が必要となります。



表示装置が外部 CRT に設定されている

+ キーを押して表示装置を切り替えてください。押すごとに表示が切り替わります。

☞ 「1 章 6- キーを使った特殊機能キー」

● 画面が見にくい



画面が見にくい



ディスプレイを見やすい角度に変える



画面が暗い



画面の輝度が低く設定されている

次の手順で設定を変更してください。

[コントロールパネル]を開き、[東芝省電力]をダブルクリックする

[電源設定]タブで利用したい省電力モードを選択し、
[詳細]ボタンをクリックする

[省電力]タブで[モニタの輝度]を設定し、[OK]ボタンをクリックする



サイドライト用の冷陰極管が消耗している

お使いの機種をご確認後、お近くの保守サービスにご連絡ください。有償にて交換いたします。



メモ

・ディスプレイに装着されているサイドライト用のFL管（冷陰極管）は、ご使用になるにつれて発光量が徐々に減少し、表示画面が暗くなります。画面の輝度を変更しても暗い場合は、長期間のご使用によりサイドライト用の冷陰極管が消耗していることが考えられます。



画面の外に黒い枠が表示される



低い解像度で設定されている

[画面のプロパティ]で領域サイズを変更してください。

[コントロールパネル]を開き、[画面]をダブルクリックする

[設定]タブの[画面の領域]で領域サイズを変更し、
[OK]ボタンをクリックする

色が汚い



少ない色数で設定されている
次の手順で設定を変更してください。

[コントロールパネル]を開き、[画面]をダブルクリックする

[設定]タブで[色]を[High Color]や[True Color]に変更し、[OK]ボタンをクリックする



・解像度によっては[True Color]に設定できません。

画面の領域や色を変更できない



ディスプレイの設定を確認してください。

[コントロールパネル]を開き、[画面]をダブルクリックする

[設定]タブで各設定が正しいか確認し、[OK]ボタンをクリックする

CRT ディスプレイにうまく表示されない



拡張コネクタにI/Oアダプタ、ミニI/Oアダプタ、マルチメディアポートリプリケータのいずれかを接続した状態でパソコン本体のRGBコネクタを使用している

上記の機器を接続している場合、CRTディスプレイはパソコン本体ではなく、接続した機器側のRGBコネクタに接続してください。

CRT ディスプレイで、画面の色がにじんだように表示される



ほかの電気製品の影響を受けている

テレビ、オーディオ機器のスピーカなど強力な磁気を発生する電気製品から遠ざけてください。



・高圧電線の近くの建物の場合は、パソコン本体を置く位置を変えることによって、画像の乱れが直る場合があります。

● タスクバー/ウィンドウの表示



スタートボタン/タスクバーが表示されない



タスクバーの高さを低く設定している

次の手順で高さを調節してください。

マウスポインタを画面下に移動する

マウスポインタの形状が上下(↑↓)の矢印に変わったら、マウスを上下方向にドラッグする

適度な位置でマウスの左ボタンを離す



タスクバーが[自動的に隠す]という設定になっている

次の手順で常にタスクバーを表示する設定に変更してください。

[スタート]-[設定]-[タスクバーと[スタート]メニュー]をクリックする

[全般]タブで[自動的に隠す]のチェック(☑)をはずし、[OK]ボタンをクリックする



使用していたウィンドウが見えなくなった



他のウィンドウの下に隠れて見えなくなっている

タスクバーに表示されている、使用していたウィンドウと同じ名前のボタンをクリックしてください。

他のウィンドウの下に隠れて見えなくなっていた場合は、一番手前に表示されます。

● ファイルが見つからない



ファイルを保存した場所がわからない



[検索] 機能を使って検索する

次の手順で検索してください。

[スタート] - [検索] - [ファイルやフォルダ] をクリックする

[ファイルまたはフォルダの名前] 欄に探したいファイルの名前を入力する

[探す場所] の  をクリックし、一覧から探したい場所をクリックする

[検索開始] ボタンをクリックする

ファイルの検索が始まり、しばらくすると検索結果が表示されます。

目的のファイルが表示されたら、ファイル名をダブルクリックして開く

目的のファイルが検索されなかった場合は、ファイル名や探す場所など条件を変更して再度検索してください。

● アプリケーションについて

アプリケーションの使い方については、『アプリケーションに付属の説明書』、またはアプリケーションのヘルプをご覧ください。

● アプリケーションが使えない



インストールできない



他のアプリケーションを実行している

実行中のアプリケーションをすべて終了してからインストールしてください。

電話回線を使用中のときは、回線を切断してからインストールしてください。



インストール先が A ドライブになっている

インストール先をハードディスク装置（ご購入の状態では C ドライブ）に変更してください。



ハードディスクの空き容量が足りない

ハードディスクに、アプリケーションをインストールする十分な空き容量がないと、インストールに失敗したり、[ハードディスクの空き容量が足りません]と表示されます。不要なファイルを削除するなどして、ハードディスクの空き容量を増やしてから、再度インストールしてください。



アプリケーションが使えない



正しくインストールしていない

『アプリケーションに付属の説明書』を読んで、正しくインストールしてください。



アプリケーションがシステムに対応していない

アプリケーションによっては、使用できるシステム（OS）が限られている場合があります。

⇒ 『アプリケーションに付属の説明書』



メモリが足りない

アプリケーションを起動するために必要なメモリ容量がない場合は、そのアプリケーションを使用することはできません。必要なメモリ容量は、『アプリケーションに付属の説明書』をご覧ください。

⇒ メモリの増設 ⇒ 「4章 7 メモリを増設する」



システム構成を変更していない

アプリケーションによっては、システム構成の変更が必要です。『アプリケーションに付属の説明書』を読んで、システム構成を変更してください。



プレインストールされていたアプリケーションを削除してしまった

「アプリケーション & ドライバ CD-ROM」を使用して再インストールします。本製品にプレインストールされているアプリケーションやドライバは、削除してしまった場合も、再インストールできます。

⇒ 「6章 4 アプリケーションを再インストールする」

アプリケーションが操作できなくなった

アプリケーションが動作していない

次の手順で強制終了させてください。この場合、アプリケーションで編集していたデータは保存できません。

Ctrl + **Alt** + **Del** キーを押す

[プログラムの強制終了]画面が表示されます。

[応答なし]と表示されているアプリケーションをクリックする

[終了]ボタンをクリックする

アプリケーションが終了します。

印刷について

印刷ができない

印刷ができない

プリンタの電源が入っていない

パソコン本体の電源をいったん切り、プリンタ、パソコン本体の順で電源を入れ直してください。

正しく接続されていない

接続ケーブルを正しく接続し直してください。

接続しているプリンタと違うプリンタを設定している プリンタの設定を確認してください。

[スタート]-[設定]-[プリンタ]をクリックする
接続しているプリンタのアイコンを右クリックする
表示されるメニューの「通常使うプリンタに設定」に
チェック () をつける

プリンタが用紙切れ、トナー/インク切れになっている 用紙、トナーまたはインクを補充してください。補充については、『プリンタに付属の説明書』をご覧ください。

プリンタが印刷可能な状態になっていない

プリンタの「印刷可」や「オンライン」の表示を確認し、印刷可能な状態にしてください。

詳しくは、『プリンタに付属の説明書』をご覧ください。

 印刷を実行すると [ファイルへ出力] 画面が表示される

 プリンタのプロパティで設定されている
次の手順で設定を変更してください。

[スタート] - [設定] - [プリンタ] をクリックする
接続しているプリンタのアイコンを右クリックする
表示されるメニューの [プロパティ] をクリックする
プリンタのプロパティ画面が表示されます。

[詳細] タブで [印刷先のポート] を確認する
[FILE(ディスクにファイルを作成)] または [LPT1:
(ECP プリンタポート)] を選択してください。
[OK] ボタンをクリックする



メモ

・手順 4 で選択するポートは、接続するプリンタによって異なります。
詳しくは、『プリンタに付属の説明書』をご覧ください。

 最後まで正しく印刷できない

 ECP に対応していないプリンタを使用している
プリンタのモードを双方向に設定してください。

[コントロールパネル] を開き、[東芝 HW セットア
ップ] をダブルクリックする

[Parallel/Printer] タブで [Parallel Port Mode] を
[Standard Bi-directional] に設定し、[OK] ボタンを
クリックする

 プリンタドライバを更新する

ドライバの入手方法については、プリンタの製造元にご確認
ください。

Windows Update を行うと最新のドライバをダウンロード
でき、ドライバを更新できる場合があります。Windows
Update は [スタート] - [Windows Update] をクリック
してください。

 上記のすべてを行っても印刷できない

 Windows を終了し、パソコンを再起動する

 前述のどれを行っても印刷できない

 プリンタのセルフテスト（印字テスト）を実行する
プリンタのセルフテストができないときは、プリンタの故障
が考えられます。
プリンタの製造元にご相談ください。

● キーボード・マウス・アキュポイント について

● 思うように文字が入力できない

 キーボードのキーを押しても文字が表示されない

 システムが処理中である
マウスポインタが砂時計の形をしている間は、システムが処
理中のため、キーボードまたはマウスの操作を受け付けられ
ないことがあります。システムの処理が終わるまで待ってか
ら操作してください。

 半角の「^ˆ」（チルダ）が入力できない

  +  キーを押す

 「_ˆ」（アンダーバー）が入力できない

  +  キーを押す

 「\」（バックスラッシュ）が入力できない

 Windows（日本語版）では「\」は入力できません。
 キーを押すと¥が表示されますが、同じ機能を持ち
ます。



キーボードの印刷通りに「£」、「φ」、「々」などの文字が入力できない



本製品で使用している OADG 規格のキーボードの場合、上記の文字は直接入力できません。

詳しくは、お使いの日本語入力システムに付属の説明書をご覧ください。

なお、本製品に標準装備している MS-IME では、次の読みで入力すると変換できます。

- ・ £ ... 「ぼんど」または「たんい」
- ・ φ ... 「せんと」または「たんい」
- ・ 々 ... 「おなじ」または「たんい」



記号などで、入力できない文字がある



文字コード表を使う

次の手順で文字コード表から希望の文字を探してください。

[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[システムツール]-[文字コード表]をクリックする

[フォント名]を選択し、[文字コード表]の使用したい文字をダブルクリックする

[コピー]ボタンをクリックする

文書を開いているアプリケーションのメニューから [編集]-[貼り付け]をクリックする

文書に手順 で指定した文字が挿入されます。



メモ

・アプリケーションに貼り付けた文字には、[文字コード表]で選択したフォントを指定してください。



[IME パッド]を使う

MS-IME には [IME パッド] という機能があります。

この一覧から希望の文字を探することができます。

キーを押しても希望の文字が入力できない

文字ロックの状態が合っていない

キーボードの文字キーは、文字ロックの状態によって、入力される文字が異なります。次のキーを使って、キーボードを希望の状態にしてください。

- ・ **Shift** + **CapsLock**英数
- ・ **Fn** + **F11** キー
- ・ **Fn** + **F10** キー
- ・ **Ctrl** + **カタカナ/ひらがな** キー

☞ 「1章 6 キーボード」

キーに印刷された文字と違う文字が入力されてしまう

キーボードドライバが正しく設定されていない

次の手順で設定を変更してください。

[コントロールパネル]を開き、[システム]をダブルクリックする

[デバイスマネージャ]タブで[キーボード]を[106 日本語(A01)キーボード(Ctrl + 英数)]に設定し、[OK]ボタンをクリックする

Alt + **半/全** キーを押しても、漢字モードにならない

日本語入力システムが組み込まれていない

日本語入力システムを組み込んでください。

キーボードドライバが正しく設定されていない

キーボードドライバの設定を確認してください。

☞ 「Q. キーに印刷された文字と違う文字が入力されてしまう」

どのキーを押しても、反応しない 設定は合っているが、希望の文字が入力できない

内部処理が正しく行われなかった

次の操作を行ってください。

- ・ 電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直す
- ・ リセットスイッチを押す



キーを押し続けたときの文字の入力速度を変えたい



[キーボードのプロパティ] で速度を調節する

次の手順で入力する速度などを変更してください。

[コントロールパネル] を開き、[キーボード] をダブルクリックする

[速度] タブの [表示までの待ち時間] や [表示の間隔] のつまみをドラッグして調節する

[OK] ボタンをクリックする

マウス / キーボードが使えない



アキュポイント やマウスを動かしても画面のマウスポインタが動かない (反応しない)



システムが処理中である

マウスポインタが砂時計の形をしている間は、システムが処理中のため、キーボードまたはマウスの操作を受け付けられないことがあります。システムの処理が終わるまで待ってから操作してください。



マウスとパソコン本体が正しく接続されていない
マウスのプラグの接続を確認してください。



PS/2 マウスが使えない



パソコン本体の電源を入れたまま接続した
マウスを接続した状態で、電源を入れ直す



パソコン本体の電源を切ってマウスを抜き差しし、再度パソコン本体の電源を入れる



新しいハードウェアとして認識されていない

次の手順でハードウェアウィザードを実行してください。

[コントロールパネル] を開き、[ハードウェアの追加] をダブルクリックする

[次へ] ボタンをクリックする

画面の指示に従って操作してください。

 アキュポイント と PS/2 マウスが同時に使用できない ポインティング装置と同時に使用できるように設定されていない

次の手順で設定を変更してください。

マウスによっては同時使用できない場合があります。

[コントロールパネル]を開き、[東芝 HW セットアップ]をダブルクリックする

[Pointing Devices] タブで [Pointing Devices] を [Simultaneous] に設定し、[OK] ボタンをクリックする

 シリアルマウスが使えない シリアルマウスが認識されていない

パソコン本体の電源を切って、マウスを接続してください。接続後、パソコン本体の電源を入れると、シリアルマウスが自動的に認識されます。

シリアルマウスとアキュポイント が同時に使えるようになります。

 キーボードに飲み物をこぼしてしまった 電源を切り、プラグを抜いてください。

飲み物など液体がこぼれて内部に入ると、感電、本体の故障、作成データの消失などのおそれがあります。もし液体がパソコン内部に入ったときは、電源を切って AC アダプタとバッテリーパックを抜き、お買い求めの販売店、または保守サービスに点検を依頼してください。

● 周辺機器についてのトラブル

周辺機器については「4章 ハードウェアについて」もあわせてご覧ください。

● フロッピーディスクについて

 フロッピーディスクに書き込み（データの保存）ができない



フォーマットされていない

フォーマットされていないフロッピーディスクは書き込み（保存）できません。フォーマットを行なってください。



メモ

・フォーマット可能な形式は2DDの場合720KB、2HDの場合1.44MBのみになります。



フロッピーディスクが書き込み禁止状態になっている

フロッピーディスクのライトプロテクトタブを動かして、書き込み可能状態にする

☞ 書き込み禁止状態、書き込み可能状態

⇨「4章 4 フロッピーディスクを使う」



フロッピーディスクの空き容量が少ない

不要なファイルを削除して、やり直す別のフロッピーディスクを使用する



「ファイルが作れません」というエラーメッセージが表示された



新しいフォルダを作って、そこにファイルを作成する作成できるファイル数には制限があります。

 ファイルが開けない

(読み込みエラーやディスクエラーが表示される)

- 
- フロッピーディスクに何らかの問題がある
フロッピーディスクを次の手順でチェックしてください。
[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[システム
ツール]-[スキャンディスク]をクリックする
「エラーチェックをするドライブ」欄で「3.5 インチ FD
(A:)」を選ぶ
[開始] ボタンをクリックする
スキャンディスクを開始します。

- 
- フロッピーディスクドライブが故障している
他のフロッピーディスクをセットし、ファイルが開けるか確認してください。

 フォーマットに時間がかかる

- 
- Windows では、初めてフォーマットするフロッピーディスクの場合、時間がかかります。

 フロッピーディスクドライブのLEDが消えない

- 
- データを処理している
大量のデータを処理しているときは、時間がかかります。
LED が消えるまで待ってください。
どうしても消えないときは作業を中断し、リセットスイッチを押して再起動してください。
再起動後、作業を行い、LED が消えない場合は、電源を切り、お近くの保守サービスに連絡してください。

 フロッピーディスクからシステムが起動しない

- 
- システムが入っていないフロッピーディスクが挿入されている
システムが入ったフロッピーディスクと入れ替えてください。



フロッピーディスクから起動するように設定されていない次の操作を行なってください。

[コントロールパネル]を開き、[東芝HWセットアップ]をダブルクリックする

[USB]タブで[USB-FDD Legacy Emulation]を[Enabled]に設定する

[Boot Priority]タブの[Boot Priority Options]で[FDD]が最初になるように設定する

[OK]ボタンをクリックする

● CD について



CD にアクセスできない



CD-ROM ドライブのディスクトレイがきちんとしまっていない

カチッと音がするまで閉めてください。



CD-ROM ドライブに CD がきちんとセットされていないラベルがついている方を上にして、水平にセットしてください。



CD-ROM ドライブのディスクトレイ内に異物がある
異物があったら取り除いてください。何かはさまっていると、故障の原因になります。



CD が汚れている

汚れている場合は、乾燥した布で吹いてください。それでも汚れが落ちなければ、水か中性洗剤で湿らせた布で拭き取ってください。



CD-ROM ドライブが CD を認識していない

CD-ROM ドライブの LED が点滅している間は、まだ認識されていません。

消灯するまで待って、再度アクセスしてください。



CD-ROM ドライブのレンズが汚れている

汚れを市販のレンズクリーナで取り除いてください。

 CD をセットしても自動的に起動しない 自動機能に対応していないCDを挿入している

次の手順で起動してください。

デスクトップの [マイコンピュータ] をダブルクリックする

CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックする

 正しく動作するCDもあるが、動作しないCDもある 使用環境の設定が必要なCDを使用している

各CDによって異なる使用環境を設定しなければならない場合があります。『CDに付属の説明書』を読んで、それぞれのCDに合った環境を設定してください。

CD-R、CD-RWには、メディアの特性や書き込み時の特性により、読み取れないものもあります。

 PCカードについて PCカードの挿入が認識されない PCカードを奥までしっかり差し込む

イジェクトボタンが出てくるまで差し込んでください。

☞ PCカードの取り付け ☜ 「4章3 PCカードを使う」

 PCカードの挿入は認識されるがデバイスとして認識されない MS-DOS上で使用しようとしている

本製品はWindows専用モデルです。MS-DOSモードでPCカードをご利用いただくためのドライバはご用意しておりません。

デバイスとして認識されるが使用できない

IRQが不足している

使用しないデバイスを使用不可にしてください。

[コントロールパネル]を開き、[システム]をダブルクリックする

[デバイスマネージャ]タブで使用しない装置の種類 (CD-ROMなど)の[+]をクリックする

表示される項目から使用しないデバイスを選択し、[プロパティ]ボタンをクリックする

[全般]タブで[このハードウェアプロファイルで使用不可にする]をチェックし、[OK]ボタンをクリックする

[システムのプロパティ]画面で[閉じる]ボタンをクリックする

USB 機器について

USB 機器が使えない

正しく接続されていない

ケーブルが、パソコン本体とUSB機器に正しく接続されているかどうか確認してください。

ドライバが正しくインストールされていない

ハードウェアウィザードを実行してください。

[コントロールパネル]を開き、[ハードウェアの追加]をダブルクリックする

[次へ]ボタンをクリックする

画面の指示に従って操作してください。

Windows を再起動する

休止状態から復帰後、正常に動作しない

休止状態に対応していないUSB機器を接続している

USBコネクタから1度はずし、再度接続してください。

i.LINK (IEEE1394) 機器について

i.LINK 対応機器が使えない

-  正しく接続されていない
ケーブルが、コンピュータとi.LINK対応機器に正しく接続されているか確認してください。
-  ドライバが正しくインストールされていない
次の手順でインストールしてください。
[コントロールパネル]を開き、[ハードウェアの追加]をダブルクリックする
画面の指示に従って操作してください。
-  i.LINK 対応機器の電源を入れる
-  Windows を再起動する

赤外線通信について

赤外線通信ができない

-  赤外線ポートを正しく設定する
-  通信先とパソコンの通信速度を同じにする
-  赤外線ポート間の障害物を取り除く

データが正しく送られない

-  赤外線通信の設定がされていない
次の操作を行なってください。
[コントロールパネル]を開き、[ワイヤレスリンク]をダブルクリックする
[ファイル転送]タブで[ほかのユーザーが赤外線通信を使ってこのコンピュータにファイルを送信できるようにする]をチェックし、[OK]ボタンをクリックする
-  通信先とパソコンの通信速度を同じにする
-  通信先との距離を変えてみる
-  直射日光や蛍光灯の光の当たる場所からパソコンを離す

● モデム機能 / インターネット / メールについて



お願い

・内蔵モデムは、デジタル構内交換機には接続しないでください。

● 回線が繋がらない / 切断される



接続できない



モジュラーケーブルが正しく接続されていない
モジュラーケーブルが正しく接続されているか確認してください。



[Internet Explorer] の接続設定が間違っている
次の手順で設定を確認してください。

[コントロールパネル] を開き、[インターネットオプション] をダブルクリックする

[接続] タブで [通常の接続でダイヤルする] をチェックし、[OK] ボタンをクリックする



回線が混雑している

時間帯によっては回線が混んでいて接続できないことがあります。何度か接続し直してみるか、少し待ってから接続し直してください。また、何度接続し直しても接続できない場合には、アクセスポイントを変更してみてください。



電話回線を使うアプリケーションを使用している

電話回線を使うアプリケーションが起動していると、インターネットに接続できないことがあります。そのアプリケーションを終了させた後、接続の操作を行ってください。



ダイヤルアップの設定が間違っている

プロバイダに接続するための正しい情報を設定する必要があります。

[スタート] - [設定] - [ダイヤルアップネットワーク] をクリックする

接続に使用するアイコンをダブルクリックする
ダイヤルアップの設定をご確認ください。



アクセスポイントの電話番号が間違っている

アクセスポイントの電話番号を確認し、変更があった場合などには、各アプリケーションの設定を変更してください。また、インターネットの接続設定も変更が必要です。



[ダイヤル先のコンピュータは、ダイヤルアップネットワーク接続を確立できません。パスワードを確認してから、やり直してみてください。]または[ダイヤル先のコンピュータから切断されました。接続のアイコンをダブルクリックし、やり直してみてください。]と表示される



[ダイヤルアップネットワーク]の設定が間違っている次の項目の設定に間違いがあると、これらのエラーメッセージが表示され、接続できません。

- ・IP アドレス
- ・ネームサーバアドレス
- ・ダイヤルアップ時のユーザID
- ・ダイヤルアップ時のパスワード

次の手順でそれぞれの設定を確認してください。

[スタート]-[設定]-[ダイヤルアップネットワーク]をクリックする

接続に使用するアイコンをダブルクリックする

[接続]画面が表示されます。

[ユーザー名]と[パスワード]を確認する

ユーザ名などの設定内容についてはプロバイダに確認してください。

[プロパティ]ボタンをクリックする

[××(接続先)]画面が表示されます。

[ネットワーク]タブで[使用できるネットワークプロトコル]の[TCP/IP]がチェックされているか確認する
インターネット接続にはTCP/IP接続だけを使用するので、[NetBEUI]と[IPX/SPX 互換]のチェックをはずしてください。

[ネットワーク]タブで[使用できるネットワークプロトコル]の[TCP/IP 設定]ボタンをクリックする

[TCP/IP 設定]画面が表示されます。

[IPアドレスを指定する]の設定と、[ネームサーバアドレスを指定する]の設定を確認する

設定できないIPアドレスを指定しているか、ネームサーバアドレスを指定するのを忘れている可能性があります。IPアドレスなどの指定はプロバイダにより異なります。契約先のプロバイダに連絡し、設定に問題がないか確認してください。

[TCP/IP 設定] 画面で [OK] ボタンをクリックする
[× × (接続先)] 画面で [OK] ボタンをクリックする



ユーザ名またはパスワードが間違っている

次の手順で設定を確認してください。

[スタート] - [設定] - [ダイアルアップネットワーク]
をクリックする

接続に使用するアイコンをダブルクリックする

[接続] 画面が表示されます。

[プロパティ] ボタンをクリックする

[× × (接続先)] 画面が表示されます。

[セキュリティ] タブの [認証] で [ユーザー名] と [パ
スワード] が正しく入力されているか確認し、間違っ
たら入力し直す



- ・パスワードは入力すると * (アスタリスク) で表示されるため、画面上では確認できません。大文字と小文字など、キーボードの入力状態を確認して入力してください。

接続をやり直しても同じメッセージが表示される場合は、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。



回線が切断される



キャッチホンサービスを受けている

キャッチホンサービスを受けている場合、モデムで通信中に電話がかかってくると、モデムによる通信が切れる場合があります。この場合は、もう一度接続し直してください。

また、次の手順を行うとキャッチホン機能が解除されます。

[コントロールパネル] を開き、[テレフォニー] をダブルクリックする

[ダイアルのプロパティ] 画面が表示されます。

[キャッチホン機能を解除する番号] をチェックし、ボ
タンをクリックして [* 70.] を選択する

[OK] ボタンをクリックする



- ・通常は [* 70.] です。適切な番号については、ご契約の電話会社にお問い合わせください。
- ・キャッチホン のサービスを利用すると、通話中にかかってきた電話を転送・録音し、通信が切れることはありません。キャッチホンについては、NTT にご相談ください。



[ダイヤル中] がしばらく続いた後、[ダイヤル先のコンピュータが応答しません。] と表示される



電話番号の設定が間違っている
次の点をそれぞれ確認してください。

[ダイヤルアップネットワーク] の電話番号の設定

[スタート]-[設定]-[ダイヤルアップネットワーク]
をクリックする

接続に使用するアイコンを右クリックし、表示されるメニューの [プロパティ] をクリックする

[× × (接続先)] 画面が表示されます。

[全般] タブで [電話番号] が正しいか確認し、[OK] ボタンをクリックする

[ダイヤルのプロパティ] の電話番号の設定

[コントロールパネル] を開き、[テレフォニー] をダブルクリックする

[ダイヤルのプロパティ] 画面が表示されます。

次の点を確認する

- ・ 発信元の市外局番を正しく設定しているか
- ・ 携帯電話 / PHS を使用して通信する場合は、市外局番に 0000 (実在しない市外局番) を設定する
- ・ 外線発信番号に不要な数字が登録されていないか

[OK] ボタンをクリックする



発信音はしているが、呼び出し音が聞こえない

[回線が使用中です] [回線はビジーです] [応答なし]
[接続を確立できません] と表示される



回線が使用されている

電話機や他のパソコンなどでその回線を使用していないか確認してください。



ダイヤル方法の設定が間違っている

次の手順で設定を確認してください。

[コントロールパネル] を開き、[テレフォニー] をダブルクリックする

[ダイヤルのプロパティ] 画面が表示されます。

[ダイヤル方法] の [トーン] / [パルス] をご使用の回線にあわせて設定する

NTT の加入回線の場合、プッシュ回線は [トーン]、ダイヤル回線は [パルス] を選んでください。また、ISDN 回線の場合は [トーン] になります。

どの回線を使っているかは、明細書などご契約の電話会社との契約書類をご覧ください。

[OK] ボタンをクリックする

[ダイヤルのプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする



[発信音が聞こえません。] または [発信音がありません。モデムがコンピュータと電話機に接続されているかどうかを確認してください。] と表示される



モジュラーケーブルが接続されていない

モジュラーケーブルが抜けていると上記のエラー画面が表示されます。



内線 / 外線の区別がある電話回線で使用している



0 発信の回線に接続している場合の設定がされていない



メモ

- ・ 0 発信で外線接続する回線で接続する場合、専用の受話器以外は接続できない場合があります。
- ・ 自営交換機 (PBX) を介した電話回線は、直接モデム装置を接続できない場合があります。詳しくは PBX 設置業者や PBX 装置のお取り扱い元にご確認ください。

0 発信で使用する場合、次の「ダイヤルのプロパティ」と「モデムのプロパティ」の設定を行なってください。

ダイヤルのプロパティの設定

[コントロールパネル]を開き、[テレフォニー]をダブルクリックする

[ダイヤルのプロパティ]画面が表示されます。

[外線発信番号]の[市内通話]と[市外通話]に半角で0(ゼロ)を入力し、[OK]ボタンをクリックする

[ダイヤルのプロパティ]画面で[OK]ボタンをクリックする

モデムのプロパティの設定

[コントロールパネル]を開き、[モデム]をダブルクリックする

[モデムのプロパティ]画面が表示されます。

[全般]タブで[TOSHIBA Internal V.90 Modem]を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックする

[接続]タブで[接続オプション]の[トーンを待ってからダイヤルする]のチェックをはずし、[OK]ボタンをクリックする

[モデムのプロパティ]画面で[閉じる]ボタンをクリックする



メモ

- ・ボックスの表示が薄くなっていて選択できない場合は、[詳細設定]ボタンをクリックし、[追加設定]に[X3]と入力します。
- ・[接続]タブで[詳細設定]ボタンをクリックした際に、[追加設定]に[&F]と書かれていると、上記の手順でチェックボックスをはずしても発信できなくなります。



内蔵モデム装置が故障した

落雷などの影響でモデム装置が故障した場合でも、[発信音が聞こえません]とメッセージが表示されることがあります。お近くの保守サービスにご連絡ください。

 [回線が混雑しているか、電話回線使用のお客様は、トーン / パルス、外線発信番号 ("0") の設定、ISDN 回線使用のお客様は、同期 / 非同期設定に誤りがあります] と表示される

 電話回線の設定が間違っている

次の手順で回線の確認および設定を行なってください。

[コントロールパネル] の [テレフォニー] をダブルクリックする

[ダイアルのプロパティ] 画面が表示されます。必要な項目を確認して設定してください。

- ・ [市外局番] にパソコンを設置している場所の市外局番の、最初の 0 を除いた番号を設定します。
- ・ 外線発信がある回線の場合は [外線発信番号] を設定します。
- ・ [ダイアル方法] にプッシュ回線の場合はトーンを、ダイヤル回線の場合はパルスをクリックして選びます。

[OK] ボタンをクリックする

 ISDN 回線の同期 / 非同期の設定が間違っている

次の手順で同期 / 非同期の設定を確認してください。

[スタート] - [設定] - [ダイアルアップネットワーク] をクリックする

接続に使用するアイコンを右クリックし、表示されるメニューの [プロパティ] をクリックする

[全般] タブの [接続の方法] にモデム名が表示されません。

一般に、[SYNC] という部分があれば同期、[A: SYNC] という部分があれば非同期です。また、[128] という部分があれば 128kbps 接続です。これらが接続しているアクセスポイントの設定と同じか確認し、[OK] ボタンをクリックしてください。

 ISDN ターミナルアダプタを使っていて、[ダイヤル先のコンピュータが応答しません、接続のアイコンをダブルクリックしてやり直してください]と表示される

 同期または、非同期の設定が間違っている
次の手順で同期 / 非同期の設定を確認してください。
[スタート]-[設定]-[ダイヤルアップネットワーク]
をクリックする
接続に使用するアイコンを右クリックし、表示されるメニューの [プロパティ] をクリックする
[全般] タブの [接続方法] にモデム名が表示されます。
一般に、[SYNC] という部分があれば同期、[A:
SYNC] という部分があれば非同期です。また、[128]
という部分があれば 128kbps 接続です。これらが接続
しているアクセスポイントの設定と同じか確認し、[OK]
ボタンをクリックしてください。

 前回のモデム使用状況が残っている
前回の使用状況によってはモデムが完全に初期化されていない場合があります。
Windows を終了してパソコンの電源を切り、1 分ほどおいてから再度電源を入れてください。

 文字がおかしくなったり、データの送受信中にエラーが発生する

 通信ソフトが正しく設定されていない
通信ソフトのヘルプ等をご覧になり、最大通話速度などをご確認ください。

 パソコンの近くでテレビやラジオなどを使っている
テレビやラジオなどは、パソコンから離してご使用ください。
モジュラーケーブルがノイズの影響を受けて正しく通信できないことがあります。



ISDN ターミナルアダプタで接続はできるが、[ページが表示されません] と表示される



[ネットワーク] に TCP/IP が 2 つ以上登録されている次の手順で削除してください。

[コントロールパネル] を開き、[ネットワーク] をダブルクリックする

[ネットワークの設定] タブで [現在のネットワークコンポーネント] に [TCP/IP...] という項目が複数あるときは、その項目をクリックする

[削除] ボタンをクリックする

ターミナルアダプタによっては、インストールするたびに TCP/IP を追加します。パソコンをネットワークに接続しないときは、[現在のネットワークコンポーネント] の項目は、[Microsoft ファミリ ログオン] または [Microsoft ネットワーククライアント] [ダイアルアップネットワーク] [TCP/IP] の 3 つだけにしてください。



内蔵モデムで K56flex サイトにうまく接続できない



内蔵モデムの通信モードが合っていない

内蔵モデムの通信モードの設定について、AT コマンドで K56flex を有効にしてください。

PBX 経由など、回線品質が NTT の回線と異なる場合は、K56flex での接続ができないことがあります。その場合は、AT コマンドで K56flex を無効にして、V.34 モードで接続してください。

[コントロールパネル] を開き、[モデム] をダブルクリックする

[モデムのプロパティ] 画面が表示されます。

[TOSHIBA Internal V.90 Modem] を選択し、[プロパティ] をクリックする

[TOSHIBA Internal V.90 Modem のプロパティ] 画面が表示されます。

[接続] タブで [詳細設定] ボタンをクリックする

[接続の詳細設定] 画面が表示されます。

[追加設定] に半角英文字で次のように入力する

- ・ K56flex を有効にする場合 - V90=0 S38=1
- ・ K56flex を無効にする場合 - V90=1 S38=0



メモ

・ S38 = 1 K56flex 有効

S38 = 0 K56flex 無効

(V.34 モード : Max スピードは 33,600bps になります)

[OK] ボタンをクリックする

[TOSHIBA Internal V.90 Modem のプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする

[モデムのプロパティ] 画面で [閉じる] ボタンをクリックする

[追加設定] で AT コマンドの変更・追加を行なった場合は、[スタート] - [Windows の終了] から再起動してください。

再起動後、K56flex または V.34 モードが有効になります。

⇒ AT コマンドについて ⇨ 《オンラインマニュアル》



Windows Update ができない



正しく接続されていない

モジュラーケーブルが正しく接続されているか確認してください。



インターネットプロバイダと契約していない

Windows Update は、インターネット経由で接続するため、インターネットプロバイダとの契約が必要です。

また「簡単インターネット」を使用すると、簡単にインターネットへの接続ができます。

⇒ 「簡単インターネット」⇨ 「5章 2-3 プロバイダと契約する」



Windows ユーザ登録をしていない

Windows Update を利用するには、Windows ユーザ登録を行なってください。

● その他



ダイヤル発信時、呼び出し音と同時に断続した「ピー」という音が聞こえる



発信中の端末が情報機器であることを接続先端末に知らせるサイン（コーリングトーン）です。

インターネットやパソコン通信を9600bps以上で接続する場合は何の問題も起こりませんが、接続先によっては、接続直後に回線が切断されることがあります。その場合は、次の手順で設定を変更してください。

[コントロールパネル]を開き、[モデム]をダブルクリックする

[モデムのプロパティ]画面が表示されます。

[TOSHIBA Internal V.90 Modem]を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックする

[TOSHIBA Internal V.90 Modemのプロパティ]画面が表示されます。

[接続]タブで[詳細設定]ボタンをクリックする

[接続の詳細設定]画面が表示されます。

[追加設定]に半角で-C0（マイナスシーゼロ）と入力し、[OK]ボタンをクリックする

[TOSHIBA Internal V.90 Modemのプロパティ]画面で[OK]ボタンをクリックする

[モデムのプロパティ]画面で[閉じる]ボタンをクリックする



モデムの設定を購入時の状態に戻したい



ハイパーターミナルを利用する

次の手順で操作してください。

この操作では実際に電話発信はしませんので、モデムに電話線を接続する必要はありません。

[コントロールパネル]を開き、[モデム]をダブルクリックする

[モデムのプロパティ]画面が表示されます。

[TOSHIBA Internal V.90 Modem]を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックする

[ポート]を確認する

ハイパーターミナルが扱えるポート番号はCOM1～COM4です。ご使用のモデムがCOM5以降のポート番号に割り当てられている場合は操作できません。COM1～COM4にポートを割り当て直してください。

[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[通信]-[ハイパーターミナル]をクリックする

[接続の設定]画面が表示されます。

[名前]を入力し、[OK]ボタンをクリックする

[接続方法]を、モデムを割り当てているポート番号にダイレクト接続する

例えば、COM2に割り当てている場合は[COM2ヘダイレクト]になります。

[COM XXヘダイレクト]を選択すると同時に、国/地域番号、市外局番および電話番号の入力はできなくなります。

[COM XXのプロパティ]画面が表示されます。

[OK]ボタンをクリックする

[COM XXのプロパティ]画面が表示されます。

[OK]ボタンをクリックする

ハイパーターミナルの白い画面に、AT&F&Wと入力する
[Enter]キーを押す

[OK]と表示されます。

[ファイル]-[ハイパーターミナルの終了]をクリックする

[切断してもよろしいですか?]と表示されたら[はい]ボタンをクリックする

[セッションXXXを保存しますか?]と表示されたら[いいえ]ボタンをクリックする

● 音量について

● スピーカから音が聞こえない



スピーカから音が聞こえない



ヘッドホン出力端子にヘッドホンが挿してある
ヘッドホン出力端子からヘッドホンを取りはずしてください。



パソコン本体のボリュームダイヤルで音量を調節する



システムスピーカを有効に設定する

[コントロールパネル]を開き、[東芝HWセットアップ]をダブルクリックする

[Hardware Alarm] タブで [System Beep] を
チェックし、[OK] ボタンをクリックする



タスクバーの [ボリュームコントロール] の設定が
「ミュート」になっている

タスクバーの [音量] アイコンをクリックする
[ミュート] にチェックがついている場合は、クリックし、
チェックをはずす

つまみを上下にドラッグして調整する

つまみを上にするとスピーカの音量が上がります。



サウンドドライバが正しく設定されていない

「アプリケーション & ドライバ CD-ROM」から、サウンド
ドライバを再インストールしてください。

☞ 「6章 4 アプリケーションを再インストールする」



標準の優先するデバイスが変更されている

次の手順で「優先するデバイス」を正しく設定してください。

[コントロールパネル]を開き、[サウンドとマルチメディア]をダブルクリックする

[オーディオ] タブの [再生] で「優先するデバイス」
を正しく設定し、[OK] ボタンをクリックする



サウンドレコーダーで音楽CDからうまく録音できない



ボリュームコントロールの設定を変更する

- タスクバーの [音量] アイコンをダブルクリックする
- [ボリュームコントロール] 画面が表示されます。
- [オプション]-[プロパティ] をクリックする
- [音量の調整] で [録音] を選択する
- [表示するコントロール] で [ステレオアウト] をチェックして [OK] ボタンをクリックする
- [レコーディングコントロール] 画面で [ステレオアウト] の [選択] をチェックする



サウンドレコーダーで録音した音声データの音質が悪い



録音時のサンプリング周波数が低い

次の方法で設定を変更してみてください。

- [スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[エンターテインメント]-[サウンドレコーダー] をクリックする
- [ファイル]-[プロパティ] をクリックする
- [詳細] タブをクリックし、[形式の変換] の [今すぐ変換] ボタンをクリックする
- [サウンド名] 欄は、標準で「ラジオの音質」が設定されています。

[属性] 欄を選ぶ

CDの音質の場合の属性は、「44.100kHz、16ビット、ステレオ」です。これを目安に属性を選んでみてください。ただし高音質にすると、データ量が増大し、結果として録音できる時間は短くなります。例えばマイクフォンを使用して録音する場合は属性をモノラルにするなどして、なるべくデータ容量を押さえてください。

属性が決まったら、[名前を付けて保存] ボタンをクリックし、[新しいファイル名] 欄に名前を入力し、[OK] ボタンをクリックする

開いている画面を [OK] をクリックして閉じる

サウンドレコーダーの画面に戻ったら、実際に録音して再生音をチェックしてください。



メモ

- ・サウンドレコーダーで新しい録音を開始すると、サウンドの選択は以前の設定に戻ります。もう一度設定し直してください。

● おかしな音が聞こえる



本体からカリカリと変な音がする



ハードディスクが自動保存を行なっている

パソコン操作中は、自動的にデータの保存などの作業をしています。その際ハードディスクが動作する音が聞こえますが、問題はありません。

極端に異常な音が聞こえるときや、このような状態が頻繁に発生するときは、お買い上げの販売店またはお近くの保守サービスまでご連絡ください。



甲高い音がする



ハウリングを起こしている

使用するソフトウェアによっては、外部マイクとスピーカとでハウリングを起こし、高く大きな音が出ることがあります。次の方法で調整してください。

- ・パソコン本体のボリュームダイヤルで音量を調整する
- ・使用するソフトウェアの設定を変える
- ・ボリュームコントロールの設定で音量を調整する



テレビやラジオの音が聞こえてくる



モジュラーケーブルがテレビ・ラジオの音を拾っている

モジュラーケーブルを延長して、パソコンと電話回線を接続している場合は、標準の電話ケーブルのみを使用して確認してください。また、モジュラーケーブルにノイズ除去用部品を取り付けてください。それでも解決できない場合は、電話回線自体がノイズを拾っている可能性があります。ご契約の電話会社に相談してください。

● 調子がおかしい!

● テレビ・ラジオに障害が出る



テレビ、ラジオの調子がおかしい



何らかの原因がある

次の操作をしてください。

- ・ テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変える
- ・ テレビ、ラジオに対するパソコン本体の方向を変える
- ・ パソコン本体をテレビ、ラジオから離す
- ・ テレビ、ラジオのコンセントとは別のコンセントを使う
- ・ コンセントと機器の電源プラグとの間に市販のフィルタを入れる
- ・ 受信機に屋外アンテナを使う
- ・ 平衡フィーダを同軸ケーブルに替える

● 休止状態にならない



休止状態にならない



休止状態に対応していない周辺機器（PCカードなど）を取り付けている

休止状態に対応していない周辺機器を取りはずしてください。

⇒「周辺機器の取りはずし」⇒「4章 ハードウェアについて」



スタンバイ状態になってしまう



休止状態の設定になっていない

次の手順で設定を変更してください。

[コントロールパネル]を開き、[東芝省電力]をダブルクリックする

[休止状態]タブで[休止状態をサポートする]をチェックする

[電源設定]タブで設定する省電力モードを選択し、[詳細]ボタンをクリックする

[動作]タブのそれぞれのメニューで[休止状態]を選び、[OK]ボタンをクリックする

-  [スタートアップ] に休止状態の妨げになるアプリケーションが登録されている
[スタートアップ] からアプリケーションの登録をはずし、Windows を再起動してください。

● パソコンの動作がおかしい

-  バッテリーパックは充電したのに、すぐ Main Battery  LED がオレンジ色に点滅する
-  バッテリーパックの充電機能が低下している
別売りのバッテリーパックと交換してください。
-  使用中に処理が遅くなる
-  CPU の温度が上がった
CPU は高温になると、自動的に処理速度を下げます。しばらく作業を中止すると、CPU の温度が下がり、自動的に処理速度が元に戻ります。
-  使用中に操作できなくなった
-  電源スイッチを押す
電源スイッチを 5 秒以上押し続けると電源が強制切断されます。再度電源スイッチを押すと、メモリテストから開始されます。
-  リセットスイッチを押す
リセットスイッチを押すと電源が強制切断されます。
-  AC アダプタとバッテリーを取りはずした後、再起動する
AC アダプタと電源コードをはずしてから、バッテリーをはずす
電源が OFF になります。
バッテリーを取り付けてから、AC アダプタを取り付ける
再度電源スイッチを押す
メモリテストから開始されます。

内蔵時計が合っていない

 [日付と時刻]画面で修正する
次の手順で行なってください。

[コントロールパネル]を開き、[日付と時刻]をダブルクリックする

[時刻]に表示されている、デジタル時計の数字の部分をクリックする

「時：分：秒」で項目が分かれているので、変更したい部分をクリックしてください。

デジタル時計右端の上下のボタンで、時刻の修正を行う
[OK]ボタンをクリックする

 時計用バッテリーが充電されていない

パソコン本体に AC アダプタを接続して、しばらく時計用バッテリーを充電してください。

 時計用バッテリーの充電機能が低下している
お近くの保守サービスにご連絡ください。

 充電したはずのバッテリーパックを使用しても、Main Battery LED がオレンジ色に点灯し、バッテリーがフル充電状態を示さない

 自然放電している

バッテリーパックは、使わずに放置しているとバッテリー充電量が少しずつ減ります。

しばらく充電して様子を見てください。

 長時間バッテリーパックを使用していなかった場合、新しいバッテリーパックと交換して充電する

それでも状態が変わらない場合は、故障していると考えられます。お近くの保守サービスにご連絡ください。

● その他調子がおかしい



調子がおかしい



強制終了し、再起動する

強制終了の方法は、次の通りです。システムが操作不能になったとき以外には行わないでください。また、この場合、保存していないデータは消去されます。

Ctrl + **Alt** + **Del** キーを押す

[プログラムの強制終了] 画面が表示されます。

Alt + **S** キーを押す

プログラムを強制終了します。パソコンを再起動してください。



ウィルスに感染している

ウィルスチェックソフトでウィルスチェックを行い、ウィルスが発見された場合は駆除してください。

● 不明なメッセージが出た！

ご使用のシステムやアプリケーションソフトの説明書をご覧になってわからない場合、次の点をご確認ください。



「Password = 」と表示される



パスワードが設定されている

設定したパスワードを入力し、**Enter** キーを押してください。パスワードを忘れた場合は、キーフロッピーディスクを使用してください。

キーフロッピーディスクがない場合は、お使いの機種をご確認後、お近くの保守サービスにご連絡ください。有償にてパスワードを解除いたします。またそのとき、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要となります。



「入力されたパスワードが間違っています」と表示される



大文字ロックの状態パスワードを入力した

Shift + **CapsLock 英数** キーを押して大文字ロックの状態を解除し、再度入力してください。

 「Previous resume from hibernate failed. Would you like to try again [Enter=Y, Esc=N]？」と表示された

 休止状態が無効になった
電源を切る前の状態は再現できません。**[Esc]** キーを押してください。

 使用中突然「このプログラムは不正な処理を行ったので…」というメッセージが表示された

 ソフトウェアの内部処理がうまくいかなかった
画面の指示に従い、[閉じる] ボタンをクリックし、パソコンを再起動してください。この場合、データは保存されません。

 次のようなメッセージが表示された

- ・「Insert system disk in drive. Press any key when ready」
- ・「Non-System disk or disk error. Replace and press any key when ready」
- ・「Invalid system disk Replace the disk, and then press any key」
- ・「Boot: Couldn't Find NTLDR Please Insert another disk」
- ・「Disk I/O error Replace the disk, and then press any key」
- ・「Cannot load DOS press key to retry」

 システムディスクをセットし、何かキーを押す

 フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出し、何かキーを押す

 「Boot sequence is changed.」と表示された

 システム起動順番を変更したというメッセージです。しばらくお待ちください。



C:¥WINDOWS > _ と表示される



MS-DOS プロンプトが全画面表示されている
次の手順で MS-DOS プロンプト画面を終了してください。

E X I T とキーを押す
Enter キーを押す



「KBC ERROR」と表示された



PS/2 マウス、および PS/2 キーボードが接続されている
場合は、パソコン本体の電源を一度切り、取りはずしてから
再起動する
それでも同じエラーが表示されるようであれば、本体の故障
のおそれがあります。お近くの保守サービスにご連絡ください。



上記以外のメッセージが表示される



ご使用のシステムやアプリケーションの説明書をご覧ください。

● 異常や故障の場合



異常な臭いや過熱に気づいた！



電源を切り、電源コードを抜く
お近くの保守サービスにご連絡ください。
なお、ご連絡の際には次のことをお知らせください。

- ・使用している機器の名称
- ・ご購入年月日
- ・現在の状態（できるだけ詳しくご連絡ください）

操作できない原因がどうしてもわからない場合は、東芝
PC ダイヤルにご連絡ください。

ご連絡の際には次のことをお知らせください。

- ・使用している機器の名称
- ・ご購入年月日
- ・現在の状態

● 東芝 PC サービス・サポートのご案内

東芝パソコンをより快適にお使いいただくために、サポート窓口、サービス制度をご用意しております。本製品に同梱の『東芝 PC サービス・サポートのご案内』をご覧ください。

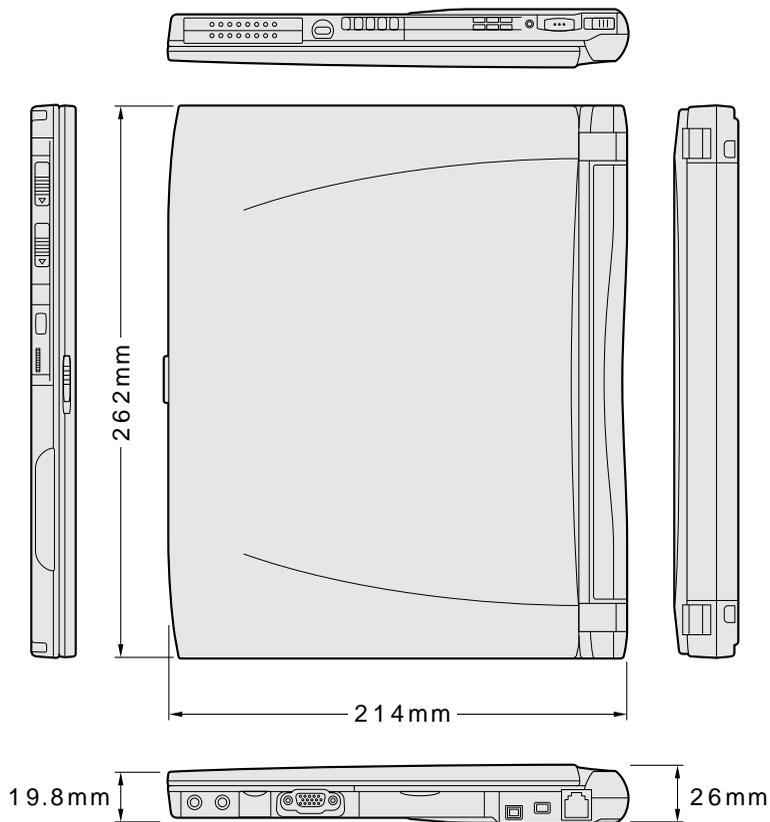
付録

本製品の仕様について説明しています。

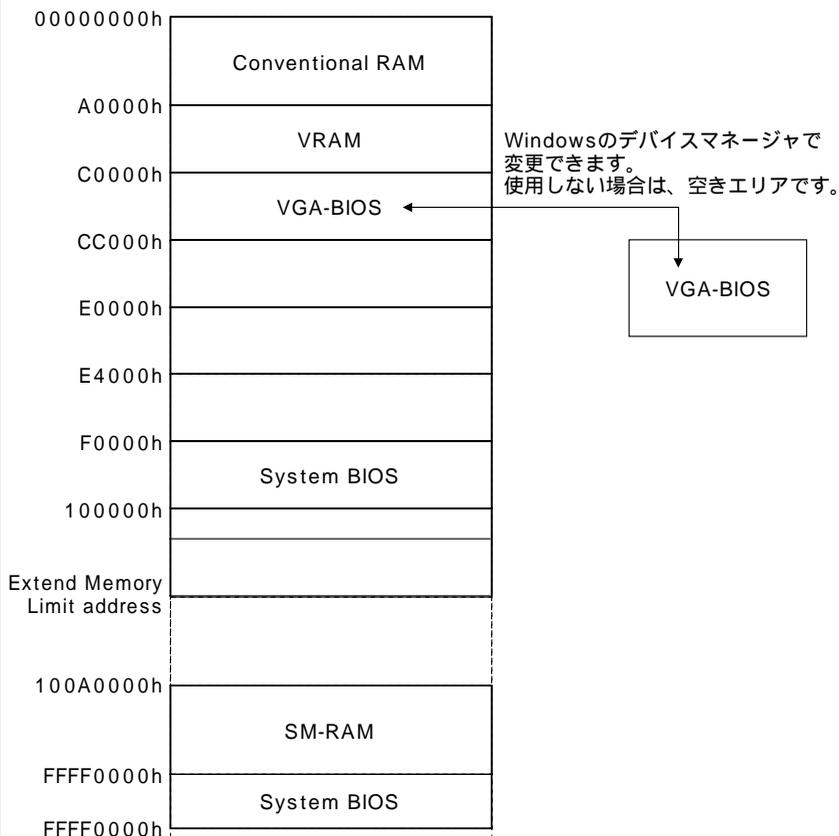
1 製品仕様	198
2 各インタフェースの仕様	202

1 製品仕様

1 外形寸法図



② メモリマップ



3 I/O ポートマップ

000h	
020h	DMAコントローラ #1
040h	IRQコントローラ #1
060h	タイマ
060h	KBC
070h	NMIマスキレジスタ

	RTC
080h	DMAページレジスタ
0A0h	IRQコントローラ #2
0C0h	DMAコントローラ #2
0F0h	(NDP)
170h	
178h	
1F0h	
1F8h	HDC
200h	
220h	
230h	-----
240h	-----
250h	
278h	
2E8h	プリンタポート #2
2F0h	シリアルポート #4
2F8h	
300h	モデム (COM2)
376h	サウンド
378h	
380h	プリンタポート #1
380h	サウンド
3B0h	VGA
3BCh	プリンタポート #3
3C0h	VGA
3E0h	東芝PCカード インタフェースコントローラ
3E8h	シリアルポート #3
3F0h	
3F8h	シリアルポート #1
400h	
530h	サウンド (WSS)
548h	
678h	プリンタポート #2
67Bh	
778h	プリンタポート #1
77Bh	
7BCh	
7BFh	プリンタポート #3
E80h	サウンド
E88h	
F40h	サウンド
F48h	

サウンド (切り替え)

④ DMA 使用リソース

DMA	
0	サウンド
1	サウンド、プリンタ
2	プリンタ
3	サウンド、プリンタ
4	Cascade for CTLR1
5	
6	
7	

⑤ IRQ 使用リソース

IRQ		PIT
0	タイマ (PIT)	#1
1	キーボード (KBC)	
2	IRQ8 ~ 15 PIT #2入力	
3	COM2、COM4、PCカード	
4	COM1、COM3、PCカード	
5	PCカード、COM3、COM4、プリンタポート #2	
6		
7	プリンタポート #1、PCカード、COM3、COM4、 プリンタポート #3	#2
8	RTC	
9	ACPI	
10	PCカード	
11	PCIバス (サウンド、PCカード、USB、VGA、赤外線)、モデム	
12	マウス	
13	NDP	
14	HDC	
15	CD-ROM / DVD-ROM	

② 各インタフェースの仕様

① RGB インタフェース

ピン番号	信号名	意味	信号方向
1	CRV	赤色ビデオ信号	○
2	CGV	緑色ビデオ信号	○
3	CBV	青色ビデオ信号	○
4	ID2	モニタID2	
5	GND	信号グランド	
6	GND	信号グランド	
7	GND	信号グランド	
8	GND	信号グランド	
9	Reserved	予約	
10	GND	信号グランド	
11	IDO	モニタID	
12	SDA	SDA通信信号	I/O
13	-CHSYNC	水平同期信号	○
14	-CVSYNC	垂直同期信号	○
15	SCL	SCLデータクロック信号	I/O

コネクタ図

高密度D-SUB 3列15ピンメス

信号名 : - がついているのは、負論理の信号です。

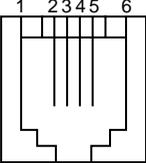
信号方向 (I) : パソコン本体への入力

信号方向 (O) : パソコン本体からの出力

② モデムインタフェース

ピン番号	信号名	意味	信号方向
1	-	ノーコンタクト	
2	Unused	未使用	
3	TIP	電話回線	I/O
4	RING	電話回線	I/O
5	Unused	未使用	
6	-	ノーコンタクト	

コネクタ図



The diagram shows a 6-pin connector with pins numbered 1 to 6. Pin 1 is on the far left, followed by pins 2, 3, 4, 5, and 6 on the far right. The connector has a standard RJ-45 shape with a notch on the top edge.

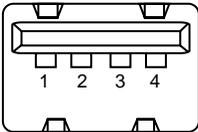
信号方向（I）：パソコン本体への入力

信号方向（O）：パソコン本体からの出力

3 USB インタフェース

ピン番号	信号名	意味	信号方向
1	VCC	+ 5V	
2	- Data	マイナスデータ	I/O
3	+ Data	プラスデータ	I/O
4	GND	信号グラウンド	

コネクタ図



信号名 : - がついているのは、負論理の信号です。

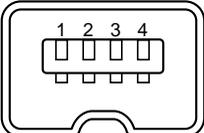
信号方向 (I) : パソコン本体への入力

信号方向 (O) : パソコン本体からの出力

4 i.LINK (IEEE 1394) インタフェース

ピン番号	信号名	意味	信号方向
1	TPB -	ストロープ受信 / データ送信 (2対の差動信号)	
2	TPB +	ストロープ受信 / データ送信 (2対の差動信号)	
3	TPA -	データ受信 / ストロープ送信 (2対の差動信号)	
4	TPA +	データ受信 / ストロープ送信 (2対の差動信号)	

コネクタ図



信号方向 (I) : パソコン本体への入力

信号方向 (O) : パソコン本体からの出力



さくいん

記号	IEEE1394 機器の取りはずし 99
田 キーを使った	IEEE1394 コネクタ 25, 97
ショートカットキー 42	i.LINK 機器の取り付け 97
A	i.LINK 機器の取りはずし 99
AC アダプタ 24	i.LINK コネクタ 25, 97
AC アダプタの取り扱い 29	Ins キー 37
Alt キー 36	M
Arrow Mode LED 22	Main Battery LED 22, 34
B	N
BackSpace キー 37	Numeric Mode LED 22
C	O
Caps Lock LED 22	Outlook Express 132
CapsLock 英数キー 36	P
CD の取り扱い 17	Pause キー 37
Ctrl キー 36	PC カードスロット 0 25, 86
D	PC カードスロット 1 25, 86
DC IN LED 22, 31	PC カードの取り付け 87
Del キー 37	PC カードの取りはずし 88
Disk LED 22	PC カードリリースレバー 0 .. 25, 86
E	PC カードリリースレバー 1 .. 25, 86
Enter キー 37	Power LED 22, 31
Esc キー 36	Product Recovery CD-ROM 140
F	R
Fn キー 37	RGB コネクタ 25
Fn キーを使った特殊機能キー ... 40	S
I	Shift キー 36, 37
I/O アダプタ 81	T
IEEE1394 機器の取り付け 97	Tab キー 36

U	キ
Ulead VideoStudio 98	キーシフトインジケータ 22
USB 機器の取り付け 96	キーボード 36
USB 機器の取りはずし 96	キーボードの取り扱い 17
USB コネクタ 25, 96	吸気口 22
	休止状態 61, 114
W	ク
Win キー 36	クリック 35
ア	ケ
アキュポイント 22, 35	ケーブルの接続 80
アキュポイント の取り扱い 18	
アプリケーション	コ
& ドライバ CD-ROM 140	コントロールボタン 22, 35
アプリケーションキー 37	コンパクトディスクの取り扱い ... 17
イ	サ
インターネット接続ウィザード . 124	サイドライト用 FL 管 18
エ	サウンド 44
液晶ディスプレイの取り扱い 18	シ
オ	システムインジケータ 22
オーバレイキー 37	システムスピーカ 46
オンラインサインアップ 122	照明 28
オンラインマニュアル 67	消耗品 20
音量の調整 44	省電力モード 110
カ	ス
書き込み可能状態 91	スクロール 35
書き込み禁止状態 91	スクロールボタン 22, 35
拡張コネクタ 25, 81	スタンバイ機能 61, 114
カスタム・リカバリ CD 140	スピーカ 22, 44
漢字キー 36	スペースキー 36
漢字変換 43	
簡単インターネット 122	

セ

制御キー	40
赤外線ポート	22
セキュリティロックスロット	22
セットアップ	51
全候補キー	37

ソ

増設メモリスロット	26, 101
増設メモリの取り付け	101
増設メモリの取りはずし	102

タ

大容量バッテリー LED	22, 34
大容量バッテリー接続コネクタ	23
大容量バッテリーの取り付け	106
大容量バッテリーの取りはずし ..	108
大容量バッテリーパックの 取り付け	105
大容量バッテリーパックの 取りはずし	105
ダブルクリック	35

テ

ディスプレイ	22, 30
ディスプレイ開閉ラッチ ...	22, 30
電源オフ	61, 115
電源コード	24
電源コードの接続	29
電源コードの取り扱い	17, 29
電源コネクタ	23
電源スイッチ	22, 48
電源スイッチロック	22, 48
電源を供給する	29

ト

トーン	118
東芝HWセットアップ	138
東芝省電力ユーティリティ	110
特殊機能キー	42
時計用バッテリー	72
ドラッグアンドドロップ	35

ナ

内蔵マイク	22
-------------	----

ニ

日本語入力システム	43
入力モード	43

ノ

ノーマル	111
------------	-----

ハ

排気口	22
ハイパワー	111
パソコン使用時の環境	27
パソコン使用時の姿勢	28
パソコンの使用方法	28
パソコンの設置環境	27
パソコン本体の取り扱い	16
バッテリー駆動	32, 70
バッテリー充電量の確認	70
バッテリー充電量の減少	73
バッテリーの充電時間	33
バッテリーの充電方法	32
バッテリーの使用時間	72
バッテリーパック	23, 74
バッテリーパックの交換	74
バッテリー・リリ - スラッチ ...	23, 75

パネルスイッチ機能	66		
パルス	118		
ヒ			
表示不良画素	18		
フ			
ファンクションキー	36		
フォーマット	94		
ブラウザ	116		
フルパワー	111		
フロッピーディスクからの起動 ...	93		
フロッピーディスク ドライブ	24, 92		
フロッピーディスク ドライブの取り扱い	19, 92		
フロッピーディスクの取り扱い ...	90		
プロバイダ	116		
へ			
ヘッドホン出力端子	23		
ホ			
ホットインサージョン	86		
ボリュームコントロール	44		
ボリュームダイヤル	22, 44		
マ			
マイク入力端子	23		
マルチメディア ポートリプリケータ	83		
ミ			
ミニI/Oアダプタ	82		
		メ	
		メール	131
		メールサーバ	131
		モ	
		文字キー	38
		文字化け	137
		モジュラーケーブル	24
		モジュラーケーブルの 取り付け	121
		モジュラーケーブルの 取りはずし	121
		モジュラージャック	23, 121
		モデム	19, 121
		ヤ	
		矢印キー	37
		ユ	
		ユーザ登録	59
		ラ	
		ライトプロテクトタブ	91
		リ	
		リセットスイッチ	22
		リリース情報	19
		ロ	
		ローマ字キー	37
		ロングライフ	111